



平成 21 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 リオン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 井上清恆
 (コード番号 6 8 2 3 東証第 2 部)
 問合せ先 取締役管理統括部長
 山根 昇
 (TEL. 042-359-7099)

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ

当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落したものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期末において、減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する見込となりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額

(連結)

(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額		127 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額	(A / B × 100)	10,321 百万円 (1.2%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益の額	(A / C × 100)	1,025 百万円 (12.4%)
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額	(A / D × 100)	463 百万円 (27.4%)

(個別)

(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額		127 百万円
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額	(A / B × 100)	9,437 百万円 (1.3%)
(C) 最近 5 事業年度の経常利益の平均額	(A / C × 100)	692 百万円 (18.4%)
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額	(A / D × 100)	329 百万円 (38.6%)

- (注) 1. 当社の第 3 四半期末は 12 月 31 日であります。
 2. 最近に終了した事業年度(平成 20 年 3 月期)の経常利益(個別)及び当期純利益(連結・個別)が 10 億円未満であるため、最近 5 事業年度の平均額としております。
 3. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間において、特別損失として計上した投資有価証券評価損は連結・個別ともに 143 百万円であり、第 3 四半期累計期間における当該評価損の合計額は連結・個別ともに 270 百万円になる見込であります。
 4. 四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用していることから、平成 21 年 3 月期末において、期末日の時価により投資有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。

2. 今後の見通し

平成 21 年 3 月期の通期業績予想につきましては、現在精査中であり、業績予想の修正が必要となる場合には速やかに公表いたします。

以 上